

里母として学んだ乳幼児のこと 4

乳児をおんぶして育てた場合

<<養育者にとって都合が良い事>>

- 養育者と同じ目線での物事への対処が出来る。
- 養育者としての次の行動に続く連鎖が理解できる。
- 発達にも関係があるが、養育者の声の調子や、行動がそのまま乳児に伝わっている事が多い。

<<養育者にとって都合が悪い場合>>

- 子ども目線の物に興味を持たない。
- 養育者のこれからしようとしている事に先回りをされる。
- 乳児なので養育者のように物事がスムーズにできないと、感情の起伏の激しい子は痲癩を起す。
- 金銭に関しても大人感覚で対処しようとする。
- 同じ子ども同士の関係も大人目線での関係を作る（この時に注意、養育者が労りややさしく対処できていたら乳児から幼児になっても優しさが身に付いた対処が出来る）